

研究機関：広島大学

研究課題名	日本における関節リウマチ患者の現状と問題点を全国的に継続的に明らかにするための共同臨床研究
研究責任者名	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 杉山 英二
研究期間	平成 29 年 6 月 30 日(倫理委員会承認後)～平成 40 年 12 月
対象者	平成 26 年 3 月 18 日～平成 32 年 12 月 31 日の期間に広島大学病院リウマチ膠原病科で、関節リウマチ（かんせつリウマチ、rheumatoid arthritis：RA）と診断された成人患者さん。
意義・目的	<p>この研究は、リウマチ性疾患に関する疫学的調査を行うことを目的としています。さまざまな疾患において疫学的研究は、有病率・発症率の経時的調査、治療効果の確認、患者様 QOL（生活の質）調査などの意義はもちろんのこと、これら疾患の病態・発症機序を解明するための研究、さらには有効な治療法・予防法開発のための研究の始点としての意義が大きいものと考えられるからです。関節リウマチの治療は急速に変化しております。治療効果の向上がもたらされていますが、まだ、さまざまな課題が残っていることも事実です。この研究は、関節リウマチに関する情報収集研究を継続することにより、日本における関節リウマチ診療がよりよい方向に向かっているのかを検証するのに役立つはずです。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は年齢、性別、RA 発症日、初診日、RA 関連整形外科手術歴、RA のコントロール状況、治療状況、年間の通院状況、年間の入院の有無、年間の手術の有無、薬剤の使用状況、レントゲンによる手・手指関節の評価、身体機能から見た評価、種々の測定法による QOL の評価、治療内容、人工関節の予後、生物学的製剤投与中止の理由、結核・新規悪性疾患発病の有無です（個人を特定可能な情報は解析に用いません）。</p>
共同研究機関	<p>相模原病院を代表施設として、全国約 50 施設が当研究に参加しています。</p> <p>相模原病院に情報を集め解析します。</p> <p>患者さんの情報を各施設で収集した後、WEB 上で集計用サーバに患者登録及びデータの送信を行います。サーバアクセスに関しては、SSL 暗号化および二重鍵方式にてセキュリティを確保しています。本院を含む参加施設においても解析を行います。</p>
試料・情報の管理責任者	相模原病院 リウマチ性疾患研究部長 當間重人
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

研究機関：広島大学

T e l : 082-257-5539

広島大学病院リウマチ・膠原病科 職名 教授 杉山 英二

広島大学病院リウマチ・膠原病科 職名 医科診療医 湯川 和俊